

ほけんだより 美化特別編

令和7年7月 春日井西高校 保健部

他人事ではなく
考えてみよう

「学校内が汚い」と生徒のみなさんから聞くことがあります。どうしたらきれいな環境を作ることができるでしょう。学校を使うすべての人、みなさんが意識をして行動をすることでしか達成できません。自分の行動を見直して、変えてみませんか？

例えばこんなことがあります

気づいたこと	できること
ペットボトル・お菓子の包み紙 汗拭きシート 等のポイ捨て	使用した後その場に放置やポイ捨てしない 持ち帰る うっかり落とさないように袋を持参する
床のしみが多い	飲み歩き・食べ歩きをしない こぼしたらその場でふき取る
トイレの汚れ	使用後の汚れは自分でとる 洗面台に髪の毛などのゴミを残さない

清掃当番になったときは、割り当てられた場所をしっかりと掃除をしてください。トイレなど、みなさんが使用するすべての場所は誰かが掃除をしています。使用するときには、そのことを考え、大切に使用してください。



運動場の部室周辺、特に裏に、ペットボトルやお菓子の包み紙等たくさんのものがポイ捨てされていました。90ℓのビニール袋3つ分にもなりました。掃除をしてきれいにした直後にもペットボトルが落ちています。ポイ捨てをするのは絶対にやめましょう。

美化委員会で清掃活動しました

7月4日の授業後に美化委員のみなさんが、教室棟の廊下をぞうきんで磨き、きれいにしてくれました。

黒いシミが多かったところは特に、変化に気が付くのではないのでしょうか。ぞうきんと床用洗剤で落とせる汚れもたくさんあることが分かりました。普段の掃除でも取り組んでください。

また、床に物を捨てないようにする、飲み歩きをしない、スリッパの裏で汚れや水分を踏んで広げない等、汚れを増やさない工夫も大切です。

